

日本公衆衛生学会
「標準的な健診・保健指導プログラム」に対する意見表明について

平成20年度から実施される特定健診・特定保健指導に向けて、昨年7月、厚生労働省から「標準的な健診・保健指導プログラム（暫定版）」が公表されました。これに対して、多方面から学会としての意見を出してほしいとの要望を受け、理事会および地域保健医療福祉委員会で検討を重ねるとともに、本年2月、同委員会の専門部会として生活習慣病対策専門委員会（委員長 上島弘嗣・滋賀医科大学教授）を立ち上げました。同委員会および理事会における検討を経て、本年3月23日付で、「標準的な健診・保健指導プログラム（暫定版）」に対する意見を厚生労働省健康局長宛に提出いたしました。

その後、厚生労働省より同プログラム確定版が公表されましたが、本意見書の内容は確定版においても有用と考えられます。以上、これまでの経過をご報告するとともに、意見書の全文を掲載いたします。

平成19年 4月17日

日本公衆衛生学会
理事長 實成文彦

平成19年 3月23日

厚生労働省健康局長
外 口 崇 殿

日本公衆衛生学会理事長
實 成 文 彦

「標準的な健診・保健指導プログラム」〔暫定版〕に対する意見

平成20年度より特定健診・保健指導が実施されます。その基本的な考え方は、新たな健診において、糖尿病等の生活習慣病、とりわけ内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）該当者・予備群を減少させるため、保健指導を必要とする者を的確に抽出し、特定保健指導を行うとされています。

メタボリックシンドロームを有するものは、わが国では、男性の8-25%程度に存在し、その構成要素である腹部肥満に加え、血圧高値、血糖高値、脂質代謝異常を多く複数有するため、脳卒中、心疾患、糖尿病等の生活習慣病等の発症危険度が高くなります。したがって、それ自体の保健指導の重要性については十分評価するものであります。

しかし、「標準的な健診・保健指導プログラム」〔暫定版〕では、循環器疾患のみならず、癌予防、呼吸器疾患予防の重要な対策項目である喫煙者への保健指導が軽視されています。また、本来、「健康日本21」の中間評価を踏まえて、重要な項目については、引き続きその対策を実施し、目標に近づける努力が必要です。

そのためには、肥満対策もその重要な項目の一つですが、喫煙対策、高血圧対策、糖尿病対策、多量飲酒対策、等もそれに劣らず重要です。その手段として、「健康日本21」の総論にあるように「ハイリスクストラテジー」のみならず、「ポピュレーションストラテジー」も重要です。

「ポピュレーションストラテジー」の実例として、健康増進法の「受動喫煙防止」条項は、受動喫煙対策にとって大きな効力を発揮しました。

内臓脂肪の蓄積とリスク要因に対する指導は、比較的若い時期に生活習慣改善を行った方が予防効果は期待できるとされています。その認識は適切なものと考えます。しかし、高齢者であっても、高血圧、糖尿病、低栄養状態（やせ、低コレステロール、等を含む）等に対する食生活指導、禁煙指導等の重要性は、若年者の保健指導に劣らず重要です。

また、この特定健診は、本来、生活習慣改善を適切に行うためのものであり、健診により受診勧奨を受けた受診者に対して、不用意に薬物治療が行われないような配慮とその明示が必要です。

最後に、都市・農村部等の地域や職域の実情により人々の生活習慣は異なり、重視すべき対策の視点は、必ずしも全国一律ではありません。したがって、従来から指摘されているように、地域や職域における集団の実情を考慮した対策が必要です。

以上の視点を踏まえ、下記の点を考慮した特定健診・保健指導プログラムとされるように要望します。

記

1. 「健康日本21」に掲げられた対策と都道府県等健康増進計画の継続および評価を引き続き実施すること。
2. 禁煙指導は癌、循環器疾患、呼吸器疾患等の予防にとって、とりわけ重要な保健指導項目であり、メタボリックシンドロームの有無にかかわらず禁煙指導を実施すること。また、喫煙者にとっては健診を受診すること自体が禁煙の動機付けを促す介入となるように、健診の標準的な質問票には、現在の「喫煙の有無」のみでなく「禁煙意志」に関する質問を加えること。
3. 高血圧、糖尿病、高コレステロール血症等の確立した循環器疾患の危険因子に対する保健指導は、内臓脂肪蓄積の有無とは独立して行うこと。
4. 高齢者のBMIとLDL-Cについては下限値を設定し、保健指導にも十分配慮すること。
5. この健診結果のみに基づいて薬物治療を行わないようにすること、および薬物治療を行う場合は医師の診察などによる医学的診断に基づくべきであることを明示すること。
6. 都市・農村、地域や職域における集団の特質を考慮する視点を入れること。

(以上)